

片平キャンパス・片平北門会館において「デジタル防災ワークショップ」を開催しました (2024/9/29)

テーマ：インクルーシブ防災、避難計画、デジタル技術、アプリ、地理情報、産学官民連携、まちづくり
URL：<https://www.jst.go.jp/ristex/solve/index.html>

2024年9月29日（日）に、本学片平キャンパス片平北門会館エスパス、セリシールにおいて、株式会社富士通総研、片平地区まちづくり会*とともに、住民向け「デジタル防災ワークショップ」を開催しました。また開催に当たり、片平地区米ヶ袋に位置する宮城県工業高等学校にもご協力頂きました。

本ワークショップは、科学技術振興機構（JST）「SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム」（SOLVE for SDGs）の助成を受ける「包括的な災害リスクのプロアクティブアラートに基づくインクルーシブ防災の実現」プロジェクト（2019～2024年度。代表：小野裕一）の活動の一環として実施しました。

ワークショップの目的は、当該プロジェクトを通じて研究開発し、近くリリース予定の自助・共助を支援するための新しいデジタルツール（ここアラート、コーアラート）を、協力先地域の住民の方々に実際に操作して頂き、改善・改良に結び付けることです。当日は、高齢者を中心に19名の住民の方々（各町内会の幹部、民生委員を含む）、サポーターとして14名の宮城県工業高校の生徒のほか、仙台市危機管理局の担当者、株式会社富士通総研の開発担当者、JST事務局職員、上記プログラム総括、同アドバイザーら、約50名が参加しました。当研究所からは、主催者としてプロジェクト代表の小野裕一副所長・教授、原裕太助教（2030国際防災アジェンダ推進オフィス）が参加しました。

*片平地区まちづくり会：片平地区内の8つの町内会、片平地区社会福祉協議会、片平学区民体育振興会などの地域組織、片平丁小学校や片平市民センターなどの公共施設で組織される団体。



アプリ「ここアラート」のロゴ

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 11:00～13:00 | 共助システム「コーアラート」の検証、意見交換会（プロジェクト関係者、片平地区まちづくり会幹部） |
| 13:30～13:40 | 開会挨拶 小野裕一（当研究所副所長・教授）
吉田健一（片平地区まちづくり会） |
| 13:40～15:10 | 「ここアラート」を用いたデジタル防災ワークショップ |
| 15:10～15:30 | 講評 平田直（JSTプログラムアドバイザー）
岩崎三枝子（JSTプログラムアドバイザー）
大河内俊介（JSTプログラム事務局） |
| | 閉会挨拶・講評 川北秀人（JSTプログラム総括） |
| 15:40～17:00 | JST・プロジェクト関係者らによる意見交換会、事業計画検討会 |
| 17:30～19:30 | 懇親会 |

文責：小野裕一、原 裕太（2030国際防災アジェンダ推進オフィス）

（次頁へつづく）



デジタル防災ワークショップの様子



開会挨拶をする小野副所長・教授



住民の端末にインストールされた
 自助用アプリケーション「ココアラート」



自助用アプリケーションと連動する共助
 システム「ココアラート」の説明



JST RISTEX：SDGs の達成に向けた共創
 的研究開発プログラム・川北秀人プログラ
 ム総括（人と組織と地球のための国際研究
 所代表）の講評、閉会挨拶



JST RISTEX：SDGs の達成に向けた共創
 的研究開発プログラム・平田直アドバイザ
 ー（東京大学名誉教授）の講評



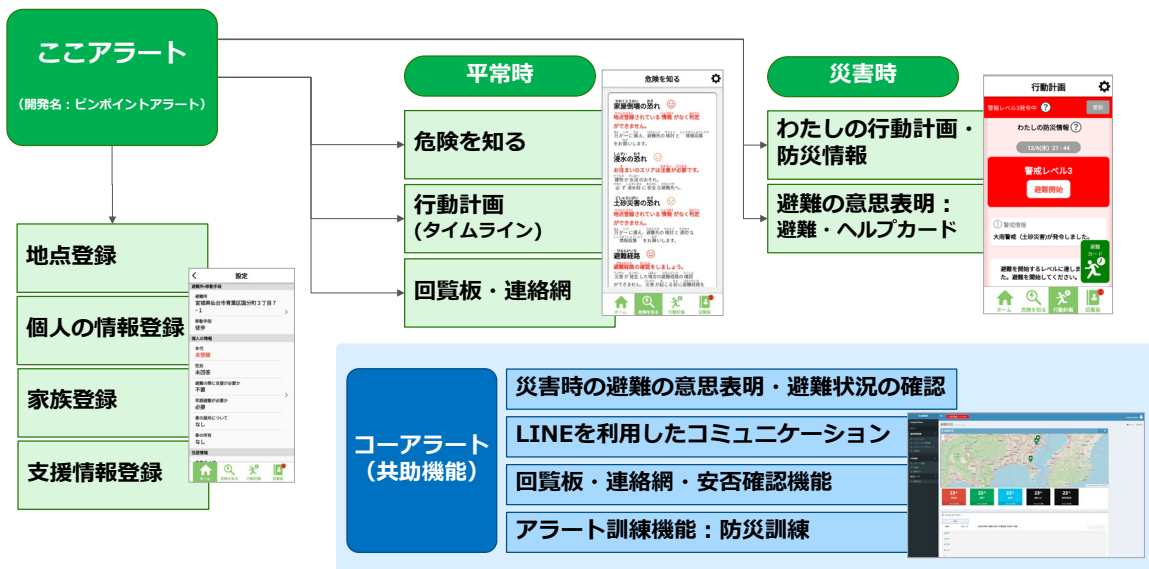
プロジェクト主要メンバー（東北大学、株式会社富士通総研）、および JST プログラム関係者の集合写真



JST RISTEX：SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム・岩崎三枝子アドバイザー（元経団 1%クラブ座長、元トヨタ自動車株式会社 共生社会推進室長）の講評



片平キャンパス片平北門会館



ここアラート（自助用スマートフォンアプリ）とここアラート（共助システム）の概要